



◇ 8月6・7日、第2回全国高校教育模擬国連大会に20名の生徒が参加しました。

大会名： 第2回 全国高校教育模擬国連大会 (AJEMUN)
 場所： きゅりあん (品川区立総合区民会館) 日時： 2018 年 8 月 6 ・ 7 日
 主催： 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)
 全国中高教育模擬国連研究会 (全模研)
 大会規模： 約 700 名 (4 会場に別れて議論)
 会議方式： 全日本高校模擬国連大会と同じ方式 (ハーバード方式)
 使用言語： 日本語 (ただし簡単な定型句などは英語使用の場面あり)
 議題： 「国際安全保障の文脈における情報及び電気通信分野の進歩」
 Development in the field of information and telecommunications in the
 context of international security

関高校参加者一覧

| | | | |
|-------|----------|----------|---------|
| ペア 1 | 三島琴音 2年 | 齋藤萌季花 2年 | パキスタン |
| ペア 2 | 市村野乃子 2年 | 後藤 佳乃 2年 | チェコ |
| ペア 3 | 臼田真之 3年 | 西部 寛太 3年 | マーシャル諸島 |
| ペア 4 | 上野ニーナ 3年 | 古田 莉子 3年 | ガーナ |
| ペア 5 | 原 亜由子 3年 | 古田 希 3年 | セルビア |
| ペア 6 | 番野みらい 2年 | 山下 和真 1年 | ブラジル |
| ペア 7 | 伊藤 元太 2年 | 和田 航輝 1年 | マレーシア |
| ペア 8 | 大林明日香 1年 | 西部 百香 1年 | エジプト |
| ペア 9 | 澤 奈都 1年 | 羽田野智子 1年 | ポーランド |
| ペア 10 | 石原伶緒 1年 | 濱本 一歌 1年 | リビア |

<事前準備>

テーマはサイバーセキュリティ。各校・各ペアごとに割り当てられた国の大使役を務めます (上記一覧表)。20名の参加者のうち、模擬国連経験者は1名のみ。あとは全員初心者です。

まず、事前課題の議題概説書 (Background Guide) を読み込み、政府機関の HP や書籍を参考に、担当国の基本政策を立案するところから始まります。今回は国ごとに PPP (Position and Policy Paper) を作成し、メンバーの前で発表練習を行いました。

<第1日目> 午前はサイバーセキュリティの専門家 (初代陸自サイバー部隊長) の講演会。そして午後はいよいよ、軍縮・保障安全委員会の開会です。関高生は、10ペアが4カ所の議場に分散して参加しました。

各国大使によるスピーチに続き、外交官の交渉力が問われるアンモデレートコーカス。非着席でのマルチ交渉が始まると議場は一気に白熱しました。



<第2日目> 模擬会議では、序盤にスピーチやWP(Working Paper)を通し、各国が主張を議場に共有します。そして、中盤以降はDR(Draft Resolution)の作成を通して、各国の意見が集約されます。最終的に、DRが提出され、投票にかけられます。各議場ともに、1日目に提出されたDRをめぐって、各国大使によるスピーチやマルチ交渉が繰り返されます。関高生は初参加者が大半で、最初は戸惑いがちでしたが、他校の生徒の刺激をうけながら、スピーチ、アンモデレートコーカス等で積極的な姿勢で頑張っていました。

やはり、会議をリードしたのは、模擬国連常連校の高校生たち。彼らのファシリテーションやプレゼン、コミュニケーションスキルの高さには、関高生も驚かされるばかりでしたが、2日間の交流を通じ、自分たちが解決すべき課題も見つかり、有意義な時間を過ごすことができました。

◇ 参加した生徒の感想

■私は本番の模擬国連には初出場でした。1月に行われた練習会で、ほかの出場者の知識量や統率力に圧倒され、今回の模擬国連では、「もっと正確な知識をもって活発に行動する。」という目標をもって臨みました。

私たちのペアはマーシャル諸島大使役。代表演説をやらせていただきましたが、他の大使を見て刺激を受けるばかりでした。「どうしてあんなに堂々と、しかも伝わりやすく話すことができるのか。」と何度も思うほど、とてつもない演説でした。同時に人を褒めているだけではダメだと思いました。「必ず自分自身もあのような素晴らしい演説ができるように経験をたくさん積んでやる。」という決意ができました。その他にも他の大使には刺激を受けました。

これは私の個人的な見解ですが、模擬国連の意義は統率力を発揮して賞を取るのではなく、自分が大使を務める国について調べ、大会に参加し他の大使たちと刺激し合い、自分の視野を広げることであると思います。実際私は関高校のことしか知りませんでしたが、全国の高校生と交流し、「日本のこと、そして世界についてもっと知りたい。」と思いました。



私は3年生なので関高生として参加する模擬国連は終わりました。

しかし、大学で模擬国連に関わりたいと思っています。高校生のうちからこのような貴重な体験が出来ることに感謝し、頑張ります。

■模擬国連参加にあたって、自宅での取り組みとして、他国のPosition and Policy Paperを読んだり、自国の情報をネットを使って調べたりしました。しかし、それだけでは足りなく、他国の政策や現状も知っていなければ、交渉や話し合いがうまくできませんでした。自国の情報も不足していて、他国の大使に指摘されてしまいました。当たって砕けるつもりだったので、悔しいというよりも、本気勢は凄い!!と強く感じました。

1日目は積極的に話しかけましたが、2日目は6カ国会議の結果待ちみたいな感じになり、アンモデは大使たちと話すべきだと思いましたが、何をすれば良いのかわからず、時間を持って余していました。初心者会議場だからと言って、模擬国連の初心者が集まるわけではないのだと驚きました。会話についていけませんでした。

いろいろな人と学校の文化について話すことができ、とても興味深く、面白かったです。貴重な機会ありがとうございました。

■模擬国連を通して学んだ事は二つあります。

まず一つ目は、世界の今の国際情勢などです。今回の模擬国連の議題は「サイバーセキュリティ」についてでした。私が担当した国はアフリカ大陸の北に位置するリビアという、まだ統一政府もない発展途上の国で、サイバーセキュリティなどあるはずもないという状況でした。ただでさえ難しい議題だというのに他国にサイバーセキュリティについて売り出していくのは不可能としか言いようがありません。「では、どうすればいいか？」売り出せるものがないなら、今の社会情勢、多国間との関係、そして歴史的背景を調べ、それを手段としながら、交渉をしようかと思い、実行しました。調べていく中で、一見仲の悪そうだった国が実は貿易の面では互いに依存していたなど、様々な発見があり、とても面白かったです。

そして、二つ目の学んだことは自分の未熟さです。模擬国連には、たくさんの有名校が参加していました。例えば、東京の桜蔭高校、愛知の海陽学園、鹿児島島のラサールなどです。有名校の方々はアンモデレートコースの際に積極的に行動し、各国の情勢も把握しながら、交渉を行っていました。最初私は場の空気に圧倒されてしまいました。とても悔しかったですが、自分よりもずっとすごい人がこんなにもたくさんいるという感動を味わうことができました。

これらの学んだことから自分の中で一つの目標が生まれました。それは有名校の人にも負けないう勉強を頑張っていくということです。アンモデレートコースの際に積極的に動いていた人たちには、積極性だけでなくそれ以上の知識がありました。話を聞いてみると、一日6時間の勉強は普通で、休日は10時間以上勉強するとおっしゃっていました。有名校の方々はもともと頭がいいということではなく、人並み以上の努力があるのだと知りました。この悔しさをばねにこれから努力していきたいと思えます。そして、できたら来年の模擬国連に参加したいと思えます。

■私はブラジル大使として模擬国連に参加させていただきました。当日のイメージが全くできず、





また全国から優秀な高校生が多く集まると聞き、不安と緊張でいっぱいでした。準備不足でどう動いたらいいのかわからず始めの方でもあたふたしてしまいました。ですが、賞を取ったりしていた学校は始まる前にプリントを配布し、自国の政策をあらかじめ知っておいてもらったり、アンモデの時には一番に声をだし会の中心になっていました。このとき模擬国連は、初めの掴みが非常に重要だと感じました。会を通しては、自分たちが計画していたかたちで交渉を進めることができ、また、予想外の展開もありましたが、しっかり対応して自国を他国にアピールできたのはよかったかなと思います。

我々ブラジルは中南米諸国と話し合い、意見の異なる2つのグループの仲介役となってDR (Draft Resolution) の作成に挑みました。今回の会議において中南米の存在はなかったのではないかと思います。私自身、ほとんど発言することができなかったのでとても後悔していますが、会議の流れがわかり、そしてなにより楽しむことができたのでとてもよかったです。今回参加してみて、前にも言った通り、自分たちはあきらかに勉強不足だったということがわかりました。他国の大使は自国の政策についてだけでなく、自国と関わりのある国について、議題についてなど広く深く下調べをし、どんな質問が来てもすぐに答えられるような準備をしていました。私自身、今回で学ぶことが多くあったので、この経験をぜひ来年の模擬国連にも生かしたいと思いました。今回は貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

■今回、マレーシア大使として模擬国連に参加させていただきました。模擬国連には全国から優秀な高校生が集まるとは聞いていましたが、彼らの英語力やリサーチは我々の想像

を超えるものでした。しかし、この参加を経て得たものが多くありました。

まず、模擬国連では、自国のリサーチだけではなく他の国や議題についても調べて行く必要があるということです。

次に、人とコミュニケーションすることの重要性、そして多くの人を率先して束ねることが成功へ近づくということです。今回、賞を受賞した大使は最初の段階で行動に移していました。つまりこれは、まだその空気に慣れていない人を自分たちの世界に取り込むことに成功していたということです。私たちがアメリカについたきっかけもそれでした。

もし、次回も参加することになったら、私はリサーチと組織を作る側に回ることをしていきたいと考えています。また、今回の模擬国連で、運営する側も経験したいと感じました。

■今回、模擬国連のような大勢が集まって話し合うような大会に参加するのは初めてで、しかも国連を再現するっていうことだったので、当日始まるまで全然イメージがつかなくて、不安と緊張がありました。

1日目、他の大使の発言などを聞いていて、まず思ったのが下調べがすごいなということで、自分たちが勉強不足だったということを感じました。アンモデの時には、最初の方はあんまり他の大使と話せなかったんですけど、向こうから話しかけてきてくれたこともあって担当国の政策について話せて、それにあったWP (Working Paper) 作成に参加できたのでよかったです。

2日目は1日目よりも積極的に気になった国に話しかけることや、複数のDRの内容を吟味し時刻の国益に一番繋がるものに入ること、自国の政策をより詳しく言うことができ、1日目より上手くやることができました。

今回参加してみて難しい議題で大分苦戦したんですけど、大会自体はとても楽しかったです。来年もまた出たいと思いました。今年参加して流れや方式、課題点や当日までにやっておくべきことがよく分かって、自分の担当国だけではなく関わりのある国やその議題自体についてよく知る必要があるなど思ったので、来年はそのようなことをしっかりと勉強して臨みたいと思いました。

■はじめての模擬国連。準備の段階から言葉の意味を理解したり、国のつながりを見つけたりするのがほんとに大変でした。でも、ものすごく楽しかったです。何が楽しかったかというと、いろんな素晴らしい高校の方々かいて、その方々とお話をする、議論をすることです。想像してもなかったことが起こったり、それをどうやって対策しようかみんな考えて、とてもワクワクするような議会でした。ぜひ、また来年も参加したいと強く願っています！

■今回模擬国連に参加して一番楽しかったことは、たくさんの高校生と話げできたことです。自分の意見がどうしたらしっかりと相手に伝わるのかということを考えること、また、自分とは違った相手の意見を聞くことがとても楽しかったです！ 他国の考えを聞いて尊重しつつ、自国の利益も考えながら話を進めていくという「交渉」。普段はほとんどしないのでとても新鮮で貴重な経験になりました。しかし、自国の利益を追い続ける国もあり、世界をひとつにする、攻撃し合わないということは不可能に近いことだということを実感させられた2日間でもありました。

パキスタン大使になりきれしていない部分もあり、思い残すこともあります。それも含めて貴重な体験ができ参加してよかったと思います。





■今まで練習会には参加したことあったけど、大会に参加するのは初めてでした。

今回はサイバーセキュリティに関する議題でBGを読んでもとても難しい内容で理解できないことが多くありました。ですが、私はチェコ大使として、自国のインターネット環境や、EU諸国とどのような関係を持っているのかをできる限り調べました。前回の練習会では役割を分担できずグループの様子がわからなかったですが、今回はペアの子と役割を分担し、それぞれのグループの話聞き、共有し合うことができました。ほんの少しではありますが進歩を感じました。しかし、まだまだグループの話についていけなかったり、質問の使用にも、なにを質問したらいいかわからなかったり、知識面でも他の学校と大きな差がありました。次の模擬国連に向け、知識を増やし、自身のスキルアップを行い、他の学校に負けないくらい議論したいです。

■私が模擬国連に参加したことで貴重な体験ができたと感じています。

そう感じる理由は、様々な考え方を知ることができたからです。他校の方々と積極的に関わることで自分たちでは気づかなかった視点や、アイデアを知ることができました。最優秀賞をとるような高校は、全ての国が賛同できるようなワーキングペーパーを作っていたので、物事を多角度からみることでできているのだと感心しました。また、積極性がとても大事だと思いました。自分があるグループに所属した時にその中での意見の交流だけでなく、他のグループと積極的に交流することで自分たちの意見との相違点は何かを知ることができ、最終的には自分たちのグループの案をより良くすることに繋がりました。この経験を活かして、物事を多角から考えられる人間になりたいです。

この大会に参加できたことは絶対に自分の中でプラスになったと言えます。自分より



も優れている人を見て、感心すると同時に自分も絶対にその位置、いやそれ以上になりたいと思えました。とても刺激的な二日間でした！ただ良い経験だったと思うだけでなく、これからの自分の生活や、考え方に繋げていきます。そしていずれは本物の国連に参加してきます。待ってください！

二日間ありがとうございました！

■この2日間で、大変多くのことを学ぶことができました。最初は、模擬国連は堅苦しくて息苦しいものだと思っていましたが、新しい発見が多く、とても楽しくて充実した2日間になりました。今回の模擬国連でたくさんの影響を受けることができました。岐阜県でのんびり育った私を、

こんなに広い世界に連れて行って下さりありがとうございます！

参加者の仲良くなった子は、留学経験者がほとんどで、2カ国語話すことができるのが普通ということに驚きを隠せませんでした。将来、どの職業に就くにしても、グローバルに活躍するためには他言語の習得は必須だと強く感じました。また、恐ろしいほど賢い人がたくさんいて、初めてそのような人と交流しました。D議場でチュニジア大使を務めていた開成高校の人は、チュニジアという小国なのに、ひるまずに、ワーキングペーパーをあらかじめ作っておき、論理的にわかりやすく説明して、多数の国をまとめ上げる姿には本当に驚きを隠せず、強烈な劣等感を感じました。しかし、それもいい影響になりました。

さらに、他県の高校生とたくさん交流して、SNSで繋がることができました。模擬国連を通して、劣等感を感じるが多かったですが、それ以上に多くのことを学ぶことができ、何よりとてもとても楽しかったです！2日間本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

■はじめての模擬国連参加、そして議題の難しさに最初はとても緊張しました。はじめの方は、話を理解することに必死で、仕切ってくれる大使の方についていくことができず、話が進まなかった。だんだん話のわかるようになってきて、自分たちのグループの特色を出していくことができました。私たちの考えと違う大使の方にわかってもらえるよう伝えるのが苦労しました。今回はサイバーセキュリティについてでしたが、表現の自由と情報統制のバランスが最大の論点でした。考えが違う地域との妥協点を考え、自分たちの考えをより取り入れてもらえるようしました。リーダーシップのある人、議題についての知識が深い人、即座に打開案を考えている人、PCが扱える人など様々な方面で活躍している人がいて大変刺激を受けました。今回の経験を大学などでも活かせるようにしたいです

■2日間に渡り東京で開催された模擬国連大会に参加しました。参加してみて感じたことは国益と国際益のバランスを保つこと、妥協点を見つけて行くことの難しさです。どちらも自国の情報だけでなく、他国の立場や、国際的な取り決めに基づいて話し合いを進めなくてはならず、頭の中がいっぱいになりました。そんな中で自分なりに解決策が見つかったときや、それを他国の大使に伝えて、理解してもらい、同調してもらったときに楽しさを感じました。

そして、参加者の皆さんを観察する中で、UCの進め方、まとめ方、説明の仕方など、良い点も惜しい点もとても参考になりました。もしこれを1年生で経験していれば、もっとやり方を理解していれば・と思うほど楽しい経験でした。興味のある下級生には模擬国連の活動を積極的に行ってもらい、いつか私立高校に圧勝できる開成高校になればと思いますし、開高生なら本当に十分に戦えるなと感じました。

■昨年度に引き続き二度目の参加となった今回の模擬国連も、前回と同様に良い経験をさせてもらえました。模擬国連はディベート力や国際問題への理解など、様々な能力を向上させる機会を与えてくれますが、中でも素晴らしい点は全国の優秀かつ向上心に溢れた同年代の学生と交流ができる点だと思います。普段ならば知り合う機会のない有名私立の生徒や、ロボットコンテスト世界大会の場で活躍するような若者と知己になれたことは、大変大きな刺激となりました。

開成高校としても上限いっぱいの人々が参加してくれたこと、前回3人で参加した身としてはとてもうれしく思います。ぜひ今後も広い世界と出会う場として模擬国連を活用してほしいです。僕も、この機会が今後の飛翔への糧となったといつか言えるように前進していきたいです。

